

9:13 主はモーセに仰せられた。「あしたの朝早く、パロの前に立ち、彼らに言え。ヘブル人の神、主はこう仰せられます。『わたしの民を行かせ、彼らをわたしに仕えさせよ。』
9:14 今度は、わたしは、あなたとあなたの家臣とあなたの民とに、わたしのすべての災害を送る。わたしのような者は地のどこにもいないことを、あなたに知らせるためである。
9:15 わたしが今、手を伸ばして、あなたとあなたの民を疫病で打つなら、あなたは地から消し去られる。
9:16 それにもかかわらず、わたしは、わたしの力をあなたに示すためにあなたを立てておく。また、わたしの名を全地に告げ知らせるためである。
9:17 あなたはまだわたしの民に対して高ぶっており、彼らを行かせようとしなさい。
9:18 さあ、今度は、あすの今ごろ、エジプトにおいて建国の日以来、今までになかったきわめて激しい雹をわたしは降らせる。
9:19 それゆえ、今すぐ使いをやり、あなたの家畜、あなたが持っている野にあるすべてのものを避難させよ。野にいて家へ連れ戻すことのできない人や獣はみな雹が落ちて来ると死んでしまう。』
9:20 パロの家臣のうちで主のことばを恐れた者は、しもべたちと家畜を家に避難させた。
9:21 しかし、主のことばを心に留めなかった者は、しもべたちや家畜をそのまま野に残した。
9:22 そこで主はモーセに仰せられた。「あなたの手を天に向けて差し伸ばせ。そうすれば、エジプト全土にわたって、人、獣、またエジ

プトの地のすべての野の草の上に雹が降る。』

9:23 モーセが杖を天に向けて差し伸ばすと、主は雷と雹を送り、火が地に向かって走った。主はエジプトの国に雹を降らせた。

9:24 雹が降り、雹のただ中を火がひらめき渡った。建国以来エジプトの国中どこにもそのようなことのなかった、きわめて激しいものであった。

9:25 雹はエジプト全土にわたって、人をはじめ獣に至るまで、野にいるすべてのものを打ち、また野の草をみな打った。野の木もことごとく打ち碎いた。

9:26 ただ、イスラエル人が住むゴシェンの地には、雹は降らなかった。

パロがまたかたくなになったので、神様は恐ろしい雹を降らせました。この後、パロが自分を改めたのですが、その後にも心を変えませんでした。このような雹でも、人は根底から変わることができません。パロの改心は心からではなく、ただ恐ろしかったからです。ですからその恐ろしさが去ると、また元に戻ってしまったのです。

この雹もイスラエル人の住むところには降りませんでした。神様の守りが、神の民にはあることを知しましょう。神様は何でも自分の願いどおりのことをしてくださるというわけではありませんが、しかし愛の神様ですから、私たちを常に守っていてくださるのです。信頼し、その信頼を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

